

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分 類 名	プロライセンスコース
-------	------------

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・ 専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コ ース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学 科 概 要

専 修 学 校 名	南海福祉専門学校	分 野 区 分	福祉
課 程 名	専修学校専門課程	修 業 年 限	2年
学 科 名	児童福祉科	学 科 定 員 数	200名
学 科 開 設 年 月 日	昭和43年4月1日	学 科 実 員 数	104名
コ ー ス 設 置 年 月 日	平成23年4月1日	推 奨 年 度	平成29年度
当該学科の教育目標	保育に関する専門技術修得は勿論、乳幼児の保育を支援する「福祉の心」を養う		
就 職 を 目 指 す 職 業	保育士、児童養護施設・障がい者(児)施設等のケアワーカー		
入学案内への記載	過去の就職実績、学生の状況、提携企業の状況等		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
多様な現場実習により、実践的な能力向上と就職後のミスマッチを防止		現場のニーズを理解した即戦力となる人材の確保	

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成28年度実施内容

提 携 企 業 名 (業 界 名)	取石南保育園、武田塾等(保育所、児童養護施設)		
コ ー ス の 目 標	事前・事後の個別指導の徹底とともに、就職の選択肢を広げる目的から年間を通して保育所並びに多様な社会福祉施設(乳児院・児童養護施設・知的障害児施設・盲ろうあ児施設・肢体不自由児施設・児童館等)の現場を経験し、目的意識を高めて修業のミスマッチを防ぐ		
企業等との提携内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	保育者として、理論だけでなく、保育の実践の場を通して、実践的な課題解決能力を培う。提携企業と学校の双方が、連携と協力を図り、円滑な実習を行う。学校は、実習に際し、事前指導、事後指導を行う。企業は、学生を受け入れ、現場実習を指導する。		
コ ー ス 内 容 ※企業現場実習など	実習前の個別の事前指導においては、独自に開発したカリキュラムで段階的にスキルを付けることで実習の具体的な成果目標が得られることが可能になっている。実習中の巡回は、学生、企業との面談を繰り返し行い、実習内容の確認を行っている。事後も反省会だけでなく、異なる施設の実習状況を共有し、より汎用性の高いものに作り上げている。 実習先については、保育所、幼稚園への実習と共に、児童養護施設、知的障がい施設、肢体不自由児施設、などへの多様な施設への実習することで、就職先に幅を広げミスマッチを防いでいる。		
提 携 契 約 期 間	平成29年4月1日～平成30年3月31日		
提 携 教 育 期 間	1学年(2週間)×2回(160時間相当) 2学年(2週間)×1回(80時間相当)		
コ ー ス 受 講 生 の 募 集 ・ 選 定 方 法	学生の自宅の立地並びに各自の希望を勘案した上で、各施設のアレンジを行い実習を行う。		
履 修 認 定	履 修 認 定 時 間 / 総 授 業 時 間	賃 金 支 払	企業評価の有無
(有)・無	240時間/240時間	有・(無)	(有)・無
評 価 学 校	提携企業の評価を最重視し、学校の授業科目として総合評価を行い履修認定を実施		

方 法	企 業	提携企業による5段階評価の実習評価を実施
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項		学校:担当教員による学生ケア、定期的に巡回をして実習指導を実施 企業:企業側実習担当者が、原則、日々実習終了時に指導を行う

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)

同窓会と学校の校務分掌下にある卒業支援委員会が連携・協力し、卒業生の親睦をはかり、研究ならびに情報の交換を行い、卒業生相互の資質の向上を図っている。卒業生対象の福祉教養セミナー等の定期的開催を実施。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 27 年度	平成 28 年度(見込)
a. 学科修了者数	66 名	57 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	66 名	57 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	62 名	57 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	5 名	2 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	57 名	55 名
f. 「b」のうち、進学者数	2 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等		
保育所、児童養護施設、障がい児施設等		

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 8 名(中退率 6.0%)
b. 平成27年4月1日在学者 133 名(平成27年4月入学者を含む)
c. 平成28年3月31日在学者 125 名(平成28年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
進路変更、学業不振
ウ. 中退防止のための取組
クラス担任制をとり、個人面談を実施するとともに、学生、保護者、学校の3者間の緊密な連携をとることにより、中退防止に取り組んでいる。

7 学校関係者評価の実施・公表

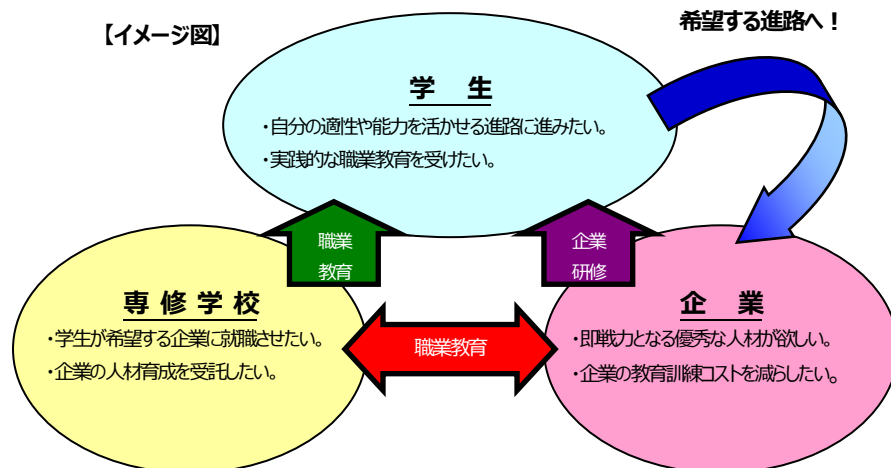
・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.nansen.ac.jp>

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して選考選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。